

講義名	19 - 日本語 A (読む) / 15 - 日本語 A 【留学生科目】			授業形態	
担当教員	辻 周吾	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング	

主題と概要

毎回、「日本語学」をテーマとした記事を紹介し、それを読解します。読解の解説はもとより、本文中における語彙や文法も指導します。まず、記事の読解に必要な日本語能力を身につけます。そして、ワークシートの課題をもとに、そのテーマにおける日本語の特徴について考えます。さらに、毎回の授業では、そのテーマにかかわる「名詞」、「動詞」、「形容詞」、「副詞」、「表現」など、日本語の特徴を一つ取り上げ、それについて紹介します。

到達目標

記事の読解に必要な日本語能力を身につけ、活用することができるようになる。
体系的に日本語の特徴を捉えられるようになる。
異なる価値をもつ学生の意見を聞くことにより、新しい視点と豊かな発想など、新しい価値観を身につけられるようになる。

提出課題

ワークシートの課題や中間/期末レポートなど、授業中に指示します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

レポートの場合は、学生からの要望により、講評による説明に応じます。

評価の基準

授業への参加度 / 授業でのワークシート課題の提出 (60%)、中間レポート (20%)、期末レポート (20%)

履修にあたっての注意・助言他

- ・毎回、出欠をとります。
- ・15分以上の遅刻は、欠席とみなします。
- ・授業には、辞書を持って来てください。

教科書

.使用しない。

参考図書

日本人と中国人とのコミュニケーション 「ちょっと」はちょっと...ボンフェイ博 影飛 和泉書院 1100 9784757603639

上の日本語の発音法

その他

授業中にプリントや資料を配布します。

授業計画

毎回、「日本語学」をテーマとした記事を紹介し、以下のような授業概要になります。新しい書籍など、有意義な記事が見つければ、そちらのテーマを取り上げることもあります。

- 第1回：『日本人と中国人とのコミュニケーション』（影飛）の記事を読む / オリエンテーション
- 第2回：『表現を味わうための日本語文法』（森山幸助）の記事を読む
- 第3回：『新語はこうして作られる』（窪田晴夫）の記事を読む
- 第4回：『ケジメのない日本語』（影山太郎）の記事を読む
- 第5回：『オノマトペ発音・発音論をたのしむ』（田守智啓）の記事を読む
- 第6回：『言い間違いはどうして起こる?』（寺尾康）の記事を読む
- 第7回：第1回～第6回までのフィードバック / 中間レポート
- 第8回：『辞書には書かれていないことばの話』（仁田義雄）の記事を読む
- 第9回：『ヴァーチャル日本語習得の謎』（金水敏）の記事を読む
- 第10回：『漢語からみえる世界と世間』（中川正之）の記事を読む
- 第11回：『さそく恋入、ひきむレポート』（森延利之）の記事を読む
- 第12回：『なぜ伝わらない、その日本語』（野田尚史）の記事を読む
- 第13回：『方言が明かす日本語の歴史』（小林隆）の記事を読む
- 第14回：『外国語として出会う日本語』（小林ミチ子）の記事を読む
- 第15回：第8回～第14回までのフィードバック / 期末レポート

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> A：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> I：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> U：ディスカッション、ディベート	E：グループワーク
<input type="radio"/> O：プレゼンテーション	C：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> K：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・事前に配布する資料について大意読みと精読を行い、分からない語彙や文法を調べる...各授業2時間程度
- ・授業中に覚えた語彙や文法を確認し覚得する...各授業2時間程度

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、日本語の読む技能について実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する科目です。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

日本語と外国語の相違などについて、教員と学生間で議論の機会を設けます。

実務経験の有無及び活用

備考